

# 白煙防止装置の運用停止について

印西クリーンセンター 工場長

印西クリーンセンターでは、ごみの焼却から発生する蒸気を、場内の発電、空調等に利用するとともに、温水センター、エネルギーセンター（千葉ニュータウンセンター熱供給事業本部）に送り、地域冷暖房等として有効活用しています。また、場内で利用している蒸気の中には、煙突から見える白煙※をできるだけ少なくするために排ガスを再加熱する装置（以下「白煙防止装置」）にも利用しています。

この白煙防止装置に使われる蒸気を他に有効利用することで、地球温暖化防止に寄与しようという取り組みが全国的にも広がりつつある中、印西クリーンセンターでは、平成22年6月～9月まで実施したこの装置の運用を停止する試験によって、1日あたり約20トンの蒸気を節減し他の装置に利用することができました。

昨年度の試験結果を踏まえ、今年度はより長い期間、そして冬場の白煙が見えやすい期間を通して白煙防止装置の停止することで、ごみから得られるエネルギーを他の装置に有効活用し、地球温暖化防止と省エネルギー化を推進すると共に、東日本大震災の影響による夏場に懸念される電力不足に対応できるものと予測しています。また、現在計画中の次期施設では、エネルギーの有効利用の観点から白煙防止装置を設けないことを基本としていますので、運用停止期間中の白煙の印象について、アンケート調査を実施し、今後の施設設計の検討資料とし活用していきたいと考えております。

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

**※ごみの焼却の過程でごみに含まれる水分と排ガス処理装置等で利用する水分が、煙突出口部分で冷やされ、温度と湿度の条件により白く見える現象で、視覚的な影響以外に環境への影響はありません。また、夜間には光の加減により黒い煙に見えることがあります。**

## 記

- |          |   |
|----------|---|
| 1 目的     | ①焼却余熱有効活用による地球温暖化対策<br>②東日本大震災の影響による節電対策<br>③白煙の排出状況（見え方）確認 |
| 2 期間     | 平成23年6月1日（水）～平成24年3月31日（土）                                  |
| 3 運用停止方法 | 「白煙防止装置」入口蒸気を停止します  |

問い合わせ先  
印西地区環境整備事業組合  
印西クリーンセンター 技術班  
Tel 0476(46)2733